



## エネルギー情報統合管理運用の支援サービス

エネルギー情報統合管理の  
導入  
と  
継続

・ハード面 (FiEMS) に加えて  
・ソフト面 (エネルギー情報統合管理の運用) を支援

・継続的に改善・向上

充実したソフト面のサポート体制により、ハード面との両輪でエネルギー情報統合管理を継続的に運用



## FiEMS Q&A

**Q** 本当にコストダウンできるのでしょうか？

**A** 本設備の導入実績として、右の魚市場では毎月コストダウンを達成しています。

〈実績〉

石巻市水産物地方卸売市場 (特定第三種漁港)

女川町地方卸売市場 (第三種漁港)

**Q** 魚市場職員は、FiEMSをどのように取り扱えばよいのですか？

**A** FiEMSは各設備を自動制御します。蓄電池への充放電指示、対象設備への縮退制御の開始・終了は管理者様の手を介さないため、業務への支障は出ません。



※外観・仕様などは、予告なく変更することがあります。

**注意** 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

## JRC 日本無線株式会社

JRCウェブサイト <http://www.jrc.co.jp/>

本社事務所 〒164-8570 東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパークイースト  
民需事業統括部 ☎(03)6832-0153(ダイヤルイン)

北海道支社 〒060-0003 札幌市中央区北三条西7-1 北海道水産ビル ☎(011)261-8325(直通)  
東北支社 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアビルズ ☎(022)781-6172(直通)  
関東支社 〒164-8570 東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパークイースト ☎(03)6832-1751(代表)  
中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-25 清風ビル ☎(052)959-5902(直通)  
関西支社 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ ☎(06)6344-1632(直通)  
九州支社 〒812-0024 福岡市博多区綱場町4-1 福岡RDビル ☎(092)262-2131(直通)  
稚内 釧路 函館 青森 八戸 秋田 盛岡 福島 新潟 長野 ふじみ野 横浜 静岡 焼津 金沢 福井 岐阜 神戸 松江 広島 境港 山口 高松 高知 徳島 松山 長崎 佐賀 大分 熊本 宮崎 鹿児島 那覇 ニューヨーク アテネ マニラ 台北 ハノイ

50JLS

ISO9001, ISO14001 認証取得

2018年8月作成

© 2017.12 CAT.No.U374 (No.965-2-1) CW/J



魚市場向けエネルギー情報統合管理設備

# FiEMS

Fishing port Energy Management System



衛生管理のための入退場記録や映像記録の設備導入による消費電力の増加。



閉鎖型市場の促進のため、照明・空調の設備増設による消費電力の増加。



排気ガス流入を避けるため、運搬機器などの電動化による消費電力の増加。

## 魚市場の

# 「食の安全・安心」を お届けするために

## 節電と電力利用の効率化

夜間電力  
の活用

縮退制御

ピーク  
カット  
制御

余剰電力  
の充電

ICT (情報通信技術) を利用すれば実現できます!

# 魚市場の電力を一括で管理し、さらなる電力コストの削減を。

HACCP<sup>\*1</sup>登録や優良衛生品質管理市場・漁港認定の取得およびそれらの継続により、これからの魚市場は消費電力の増大が見込まれます。

FiEMS(魚市場向けエネルギー情報統合管理設備)は、魚市場全体の電力利用状況を把握し、自動制御することで効率的なコストダウンを、管理者様の負担なく行うシステムです。

※1 HACCP:Hazard Analysis and Critical Control Point (危害分析重要管理点)の略

**Point 1**  
**電力利用状況の把握**

〈システム構成図〉にも示すとおり、FiEMSは〈中央監視設備やPCS(パワーコンディショナ)〉などと連携して、魚市場の節電に努め、電気料金の低減を図ります。

**Point 2**  
**ピークカット制御**

電力会社からの買電電力が特定時間に集中してしまった場合は、以降契約時の基本料金上昇を防ぐため蓄電池から放電させます。

**Point 3**  
**縮退制御**

蓄電池電力の不足・低残量の場合は空調・照明などに対し一部または全部を停止させ節電を行います。  
冷海水設備・製氷設備などの払い出しは、継続させます。

**Point 4**  
**太陽光発電との連携**

太陽光発電は魚市場作業後に行われるため、発電された電力は作業後に利用するほか、余剰分を蓄電池に充電します。充電した電力は、翌日の作業中に放電できます。

**Point 5**  
**効率の良い充電・買電**

太陽光による充電が行われなかった場合は、低単価の深夜電力で充電を行います。また、休業日の前夜は充電をせず、休業日当日の太陽光発電電力を最大限活用します。

**Point 6**  
**AIによる制御の最適化**

FiEMSは、中央監視設備やPCS(パワーコンディショナ)から電力の利用状況を収集・蓄積し、その分析結果から放電や節電の制御を、AI(人工知能)により効率的に行います。

